

令和7年度 野田中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 「中学生チャレンジテスト」の調査の目的

- (1) 大阪府教育委員会が、府内における生徒の学力を把握・分析することにより、大阪の生徒課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図る。加えて、調査結果を活用し、大阪府公立高等学校入学者選抜における評定の公平性の担保に資する資料を作成し、市町村教育委員会及び学校に提供する。
- (2) 市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、生徒の課題改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、学力向上のためのPDCAサイクルを確立する。
- (3) 学校が、生徒の学力を把握し、生徒への教育指導の改善を図る。
- (4) 生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力に目標をもち、また、その向上への意欲を高める。

3 「大阪市英語力調査（GTEC）」の調査の目的

- (1) グローバル社会において活躍し貢献できる人材の育成をめざし、生徒の英語力の充実・向上を図るため、本市教育振興基本計画に基づき、生徒に求められる英語力や学習の習熟過程等を把握・検証する。
- (2) 生徒が自らの英語力を的確に把握するとともに、生徒の英語力の実態を分析することにより、各学校における学習指導の充実や改善、工夫に役立てる。

令和7年度 野田中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

1 全国学力・学習状況調査

※中学校理科はICT端末等を用いた、文部科学省CBTシステム（MEXCBT）によるオンライン方式（以下、「CBT」【=Computer Based Testing】とする）で実施。

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均正答率(%)		平均無解答率(%)		平均IRTスコア 理科
			国語	数学	国語	数学	
3 年	学校	107	55	45	7.0	10.0	468
	大阪市	—	52	46	6.8	11.2	489
4月17日	全国	—	54.3	48.3	6.7	10.6	503

※IRTとは、国際的な学力調査等で採用されているテスト理論です。

この理論を使うと、異なる問題から構成される試験・調査の結果を、同じものさし（尺度）で比較することができます。

※IRTスコアとはIRTに基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すものです。

2 中学生チャレンジテスト

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均点(点)					平均無解答率(%)				
			国語	社会	数学	理科※	英語	国語	社会	数学	理科※	英語
3 年	学校	105	65.9	51.2	55.4	46.8	52.5	5.9	6.1	10.4	9.2	6.8
	大阪市	—										
9月2日	大阪府	—	64.2	51.2	53.9	48.1	53.2	6.8	6.5	12.1	10.0	7.4

※ 3年生の理科はA問題を選択

3 大阪市英語力調査（GTEC）

学年 実施月日		生徒数 (人)	読むこと 【リーディング】	聞くこと 【リスニング】	書くこと 【ライティング】	話すこと 【スピーキング】
			(スコア)	(スコア)	(スコア)	(スコア)
3 年	学校	95	121.5	116.4	149.0	106.4
10月23日	大阪市	—				

令和7年度 野田中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

調査結果から

【成果と課題】

○全国学力・学習状況調査結果

＜国語＞

今年度の全国学習・学力状況調査において、国語の平均正答率は55%となった。大阪市と比較して+3ポイント、全国と比較して+0.7ポイントとなった。大阪市、全国の平均を上回る結果となった。

分類別に得点率を全国平均と比較して詳細を見ていくと、次のとおりである。次のとおりである、「学習指導要領の内容」の「知識及び技能」の分野では「言葉の特徴や使い方に関する事項」の区分で+2.9ポイント、「思考力・判断力・表現力等」の分野では「B 書くこと」の項目では+0.2ポイント、「C 読むこと」の項目で+1.8ポイントとなった。

「評価の観点」を見ると、「知識及び技能」の観点では+2.9ポイント、「思考力・判断力・表現力等」の観点では、-0.1ポイントとなり、基本的な知識は身につけているものの、応用的な問題になると正答率が下がってしまいますことがわかる。特に、「思考力・判断力・表現力等」の「A 話すこと 聞くこと」の項目に関しては、-2.1ポイントとなり、対話の中での言葉の使い方や、発表する際の語彙の活用課題があると見受けられた。

＜数学＞

今年度の全国学習・学力状況調査において、数学の平均正答率は45%となった。全国と比較して-3ポイント、大阪市と比較して-1ポイントとなった。大阪市・全国と比較すると平均を下回る結果となった。分類別に得点率を全国平均と比較して詳細を見ていくと次の通りである。「学習指導要領の内容」の「A数と式」の区分は-1ポイント、「B図形」の区分で-1ポイント、「C関数」の区分で-3ポイント。「Dデータの活用」の区分で-9ポイントとなり、どの項目も全国平均を下回った。無回答率は全国10.6%、大阪市11.2%、本校10%と全国・大阪市と比較しても低く、苦手ながらも学習に対する意欲が現れる結果となった。学力を上げるために、基礎の定着が必要であることがわかる。

＜理科＞

今年度の全国学習・学力状況調査において、理科の平均IRTスコアは468であった。これは全国と比較して-35、大阪市と比較して-21ポイントとなった。タブレット/パソコンに入力する形での回答で、パソコンの不具合等もあったが、大きな要因は苦手意識を持つ生徒が多いことだと思われる。度数分布を見ると、正規分布よりも平均以下の層が多く、いわゆる5段階で4に相当する層が少なかった。ただ、いわゆる二瘤状態ではなく、平均に近い層が最も多かったため、中位層の引き上げが課題であると考えられる。教え合いを中心とした授業デザインにおいて、活躍してほしいのがこの層である。

【今後に向けて】

＜国語＞

日々の授業を通じて、読解力を養うことがわかる必要であることがわかる結果となった。「思考力・判断力・表現力等」の「A 話すこと 聞くこと」の項目に関しては、全国平均を下回っている。ディベートやプレゼンテーションといった、対話的な学習活動を取り入れることや、資料の読み取り、スピーチ原稿の添削などの活動を実施し、正しい言語を使った対話的な学びを深めていきたい。

＜数学＞

今回の調査では全ての項目が平均を下回る結果となった。そのため、今後は少人数制習熟度別授業などを行うことによって基礎学力の向上を図っていく。繰り返し小テストを行うことによって基礎が定着するように、課題の解決に繋げる。

＜理科＞

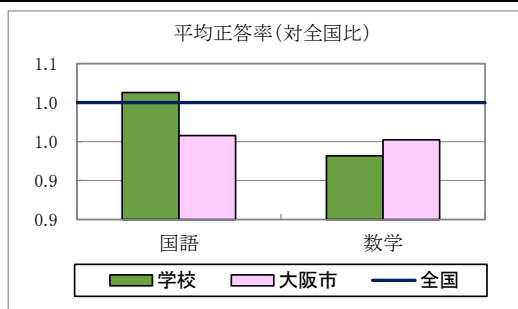
自己効力感を育てて苦手意識の克服に努めたい。実験において課題を明確にし、何を確かめることができたのかをしっかりと理解させる、日常生活にみられる現象と結び付けて理解を深める事を意識して、より身近なものに感じさせるよう努めたい。

令和7年度 野田中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

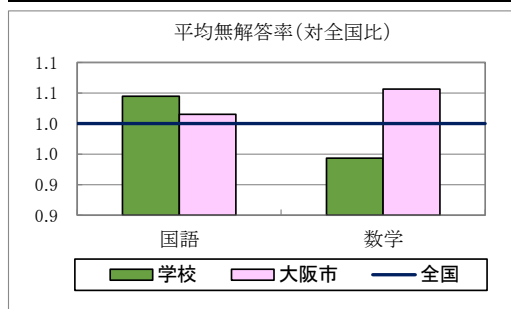
全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【 全 体 】

	平均正答率(%)	
	国語	数学
学校	55	45
大阪市	52	46
全国	54.3	48.3

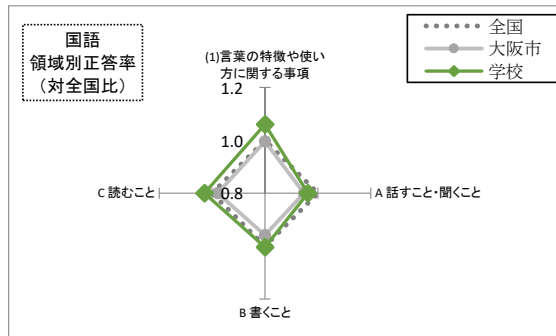
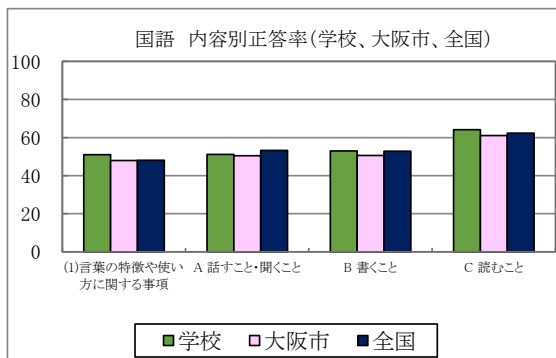


	平均無解答率(%)	
	国語	数学
学校	7.0	10.0
大阪市	6.8	11.2
全国	6.7	10.6



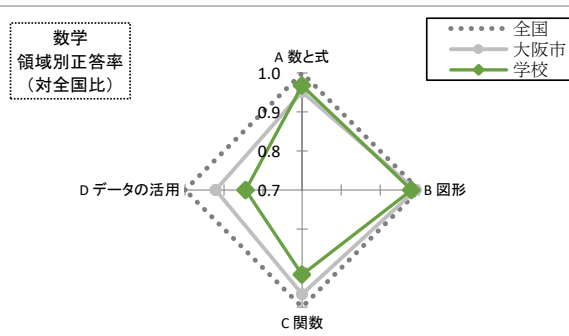
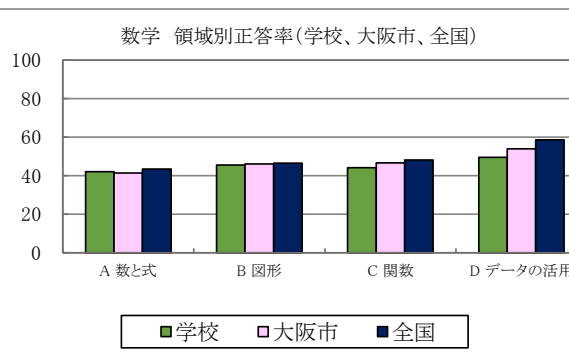
【 国 語 】

学習指導要領の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	2	51.0	47.9	48.1
(2)情報の扱い方に 関する事項	0			
(3)我が国の言語文化 に関する事項	0			
A 話すこと・聞くこと	4	51.2	50.4	53.2
B 書くこと	5	53.0	50.6	52.8
C 読むこと	3	64.1	61.0	62.3



【 数 学 】

学習指導要領の 領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と式	5	42.1	41.4	43.5
B 図形	4	45.6	46.1	46.5
C 関数	3	44.2	46.6	48.2
D データの活用	3	49.5	54.0	58.6

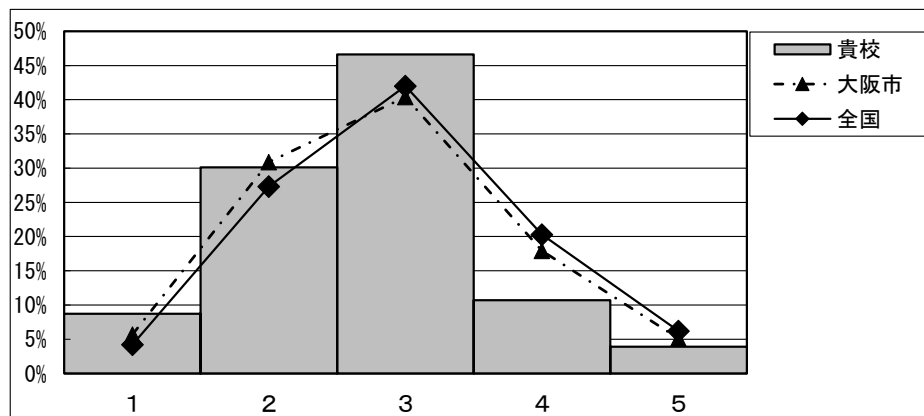
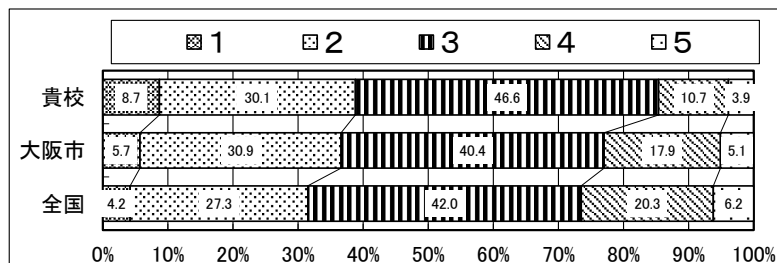


令和7年度 野田中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【理 科】

	平均IRTスコア
学校	468
大阪市	489
全国	503



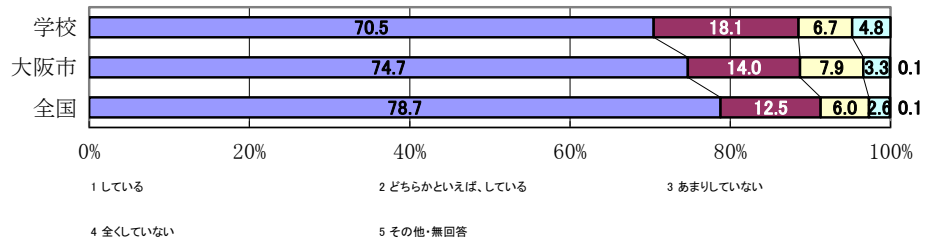
令和7年度 野田中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

生徒質問より

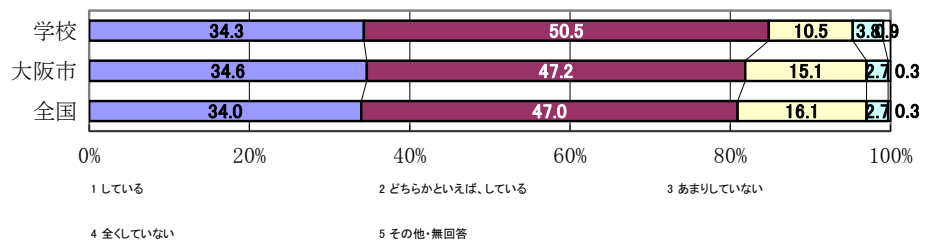
1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号
質問事項

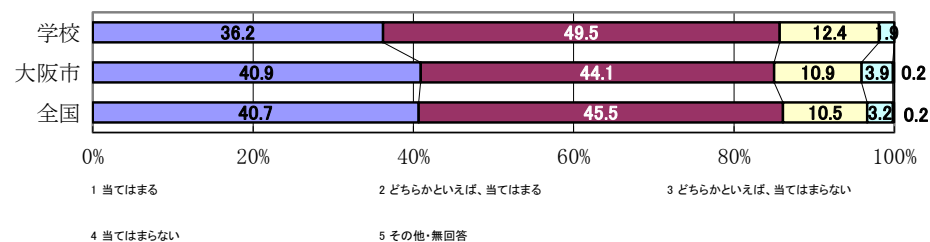
1
朝食を毎日食べていますか



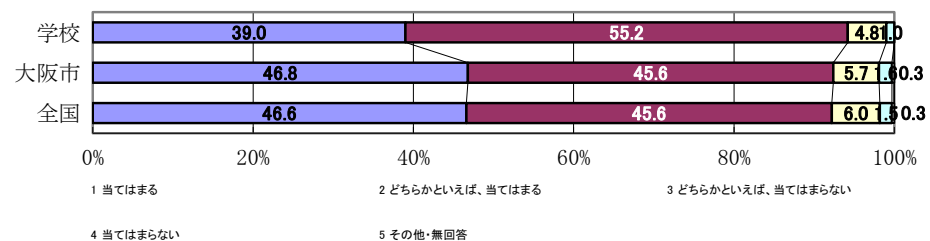
2
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



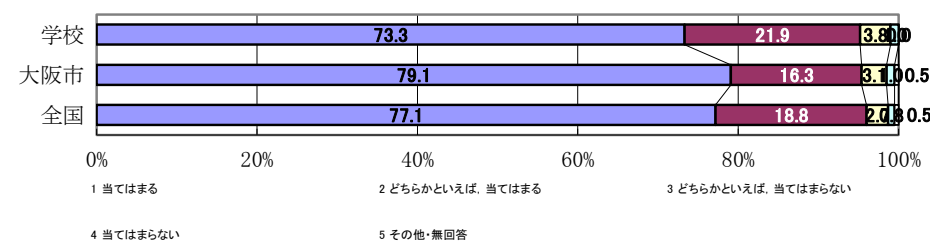
5
自分には、よいところがあると思いますか



6
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



9
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



令和7年度 野田中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

学校質問より

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

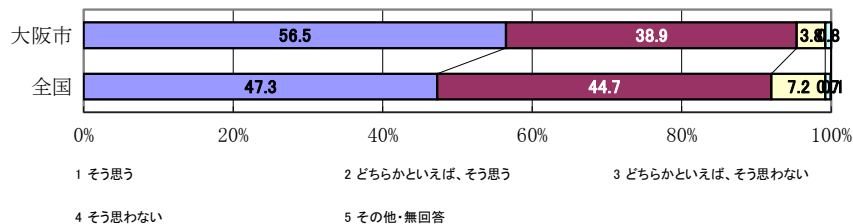
質問番号

質問事項

8

調査対象学年の生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

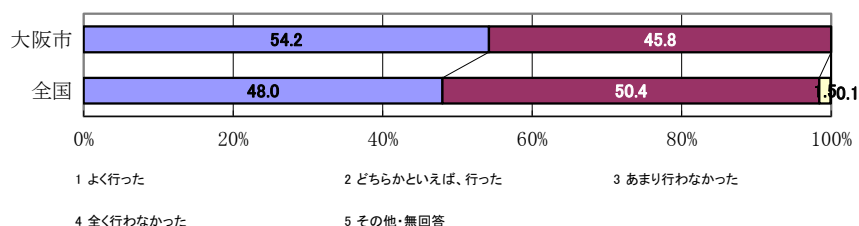
学校 「そう思う」を選択



9

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか

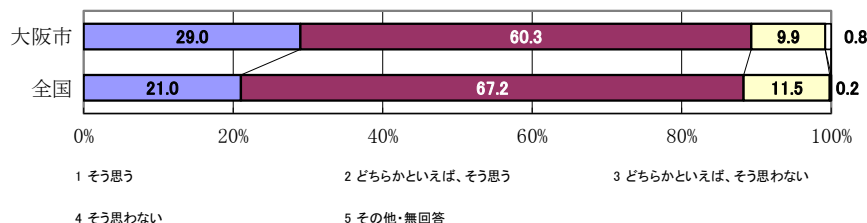
学校 「よく行った」を選択



25

調査対象学年の生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか

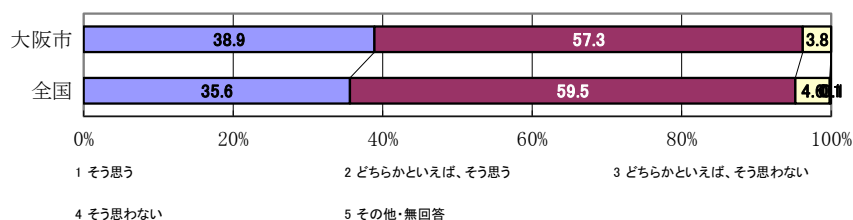
学校 「そう思う」を選択



28

調査対象学年の生徒は、授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいると思いますか

学校 「そう思う」を選択



29

調査対象学年の生徒は、授業では、自分で学ぶ内容を決め、計画を立てて学ぶ活動を行っていると思いますか

学校 「そう思う」を選択

